

令和3年10月12日
愛媛大学

愛媛県初！愛媛大学医学部附属病院で

低侵襲治療の局所麻酔鎮静下 TAVI(MAC-TAVI)を実施しました

このたび、愛媛大学医学部附属病院の第二内科、麻酔科が合同で、愛媛県内で初となる低侵襲な局所麻酔等での TAVI（経カテーテル大動脈弁置換術）を実施しました。

医学部附属病院では、重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療として TAVI を行っており、通常は全身麻酔下での実施となります。

今回、愛媛県では初となる低侵襲な Monitored Anesthesia Care (MAC) と呼ばれる局所麻酔と、鎮静・鎮痛を組み合わせ、通常の全身麻酔下で行う TAVI よりも短時間かつ安全に手術を行いました。また、術後経過も良好で、手術当日の夕方には食事摂取も可能でした。

今後は、患者さんの病態等に応じて、より患者さんの負担が少ない局所麻酔鎮静下 TAVI (MAC-TAVI) が可能な症例に対しては安全に実施する方針です。

是非、取材くださいますようお願いいたします。

TAVI...重症大動脈弁狭窄症に対する低侵襲治療で、開胸することなく、また心臓を止めることなく、太ももの付け根などの血管からカテーテルを使って行う。通常は全身麻酔をして実施。愛媛大学医学部附属病院では 2019 年から開始し、2021 年 4 月には 100 症例目を達成した。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学医学部附属病院
第二内科 西村 和久

Mail : kazu24@m.ehime-u.ac.jp

取材に関する問い合わせ先

愛媛大学医学部総務課 企画・広報チーム

Mail : mekoho@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料 1 枚（本紙を含む）